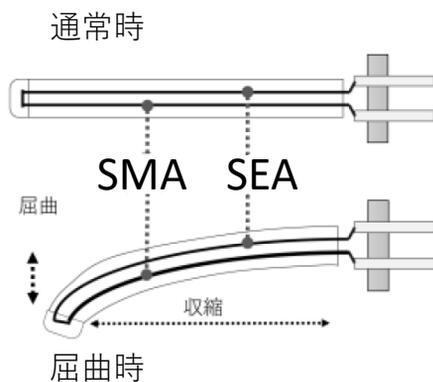


概要：形状記憶合金を使ったアクチュエーターの集合体で、光や音などに反応して任意の方向に動作制御させることができます。
専門的な知識がなくても、ユーザーとのインタラクションが可能です。
デザイン要素に躍動や時間を加え、多彩な表現が可能になります。

従来例と比較したメリット：従来にない、新しい表現方法を提示できます。

本技術の動作原理

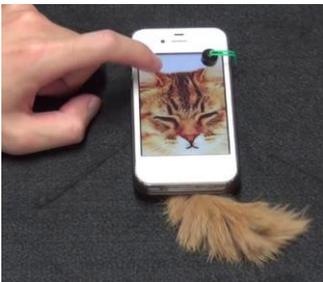


形状記憶合金 (SMA),
超弾性合金 (SEA) ワイヤに通電
↓
SMAの電気抵抗で発熱
↓
熱によりSMA収縮
↓
引っ張られて全体が屈曲

応用先： アクセサリ、ディスプレイ、装飾品、玩具など。

試作例：

スマホ連携アクセサリ



画面をなでると尻尾を振るモフモフディスプレイ

ファッション・装飾品



光と動きで着用者の身体情報を表現する服レイ

ロボット・玩具



リモコンで尾や口が動く恐竜

現状と今後の展望： デモ用機の製作中。応用のアイデアを募集中

関連知財： 特願2018-007666

お問い合わせ先： 国立大学法人電気通信大学 産官学連携センター知的財産部門
E-mail : chizai@ip.uec.ac.jp Tel : 042-443-5838 Fax : 042-443-5839